

笑顔・感謝



校報 第4号
令和7年6月30日
千葉市立生浜中学校

「学力」と「非認知能力」について

第1回定期テストが実施されました。この機会に「学力」と「非認知能力」についてお伝えします。

①「学力」が未来を切り拓く土台

学校で学ぶ教科の知識や技能、そして論理的思考力といった学力は、社会で生きる上で不可欠な土台です。文章の読解力、情報分析力、問題解決力は、どんな仕事に就く上でも必須であり、新しい知識やスキルを習得する際の基盤となります。高い学力は将来の進路選択肢を広げ、お子様の可能性を最大限に引き出す助けとなるでしょう。また、情報過多の現代において、必要な情報を効率的に収集・活用し、真偽を見極める情報リテラシーの基盤も学力にあります。本校では、生徒一人ひとりの学力向上に努めています。

②「非認知能力」が人生を豊かにする力

一方、「非認知能力」とは、テストの点数では測りにくい、内面的な特性や社会性に関わる能力を指します。具体的には、以下のような力が含まれます。

自己肯定感・自律性：自分を信じ、目標に向かって粘り強く努力する力。

協調性・コミュニケーション能力：他者と協力し、円滑な人間関係を築く力。

問題解決能力・レジリエンス（回復力）：困難に直面しても乗り越え、立ち直る心の強さ。

好奇心・探求心：新しいことへの興味を持ち、学び続ける意欲。

非認知能力は、学力のように目には見えにくいですが、社会に出てからの幸福度や成功に大きく影響すると言われています。どんなに学力が高くても、人とうまく協力できなかったり、困難にすぐ諦めてしまったりするようでは、その力を十分に発揮することはできません。

これら二つの力は、どちらか一方が優れていれば良いというものではなく、車の両輪のように、バランスよく育んでいくことで、初めて子どもたちは社会という道を力強く進むことができます。

本校では、日々の学習活動に加え、部活動や生徒会活動、地域連携活動などを通して、生徒たちが主体的に考え、行動し、他者と協力する機会を豊富に提供しています。これらは、学力向上だけでなく、非認知能力を育むための大切な教育活動です。

保護者の皆様におかれましても、お子様の学習面だけでなく、日々の生活の中での様々な経験（お手伝い、地域活動、読書など）を通じて、ぜひ「非認知能力」を意識した関わりを心がけていただければ幸いです。目標に向かう努力を認め励ますこと、失敗しても再挑戦を促すことなどが挙げられます。

お子様たちが、学力と非認知能力という二つの確かな力を身につけ、自信を持って未来へ羽ばたいていけるよう、学校と家庭が共に成長を支えていきたいと願っております。

教務主任



行事予定

	行事
1 日 (火)	こころの健康観察 3年卒業アルバム個人写真撮影
2 日 (水)	3年卒業アルバム部活動写真撮影
3 日 (木)	学習コンクール こころの健康観察 部活動休養日
4 日 (金)	8組 授業交流小学生来校
7 日 (月)	保護者面談①
8 日 (火)	こころの健康観察 保護者面談②
9 日 (水)	保護者面談③
10 日 (木)	学習コンクール こころの健康観察 保護者面談④
11 日 (金)	保護者面談⑤
14 日 (月)	2年学年集会
15 日 (火)	1年学年集会
16 日 (水)	3年学年集会
17 日 (木)	学習コンクール 部活動休養日
18 日 (金)	夏季休業前集会(オンライン)

※千葉市総合体育大会が7月5日（土）から開催されます。試合会場への応援は、保護者の方の同伴でお願いします。近年、応援生徒の熱中症が多発しており、競技役員や顧問が競技に集中することができない状況が発生しています。試合会場へ生徒のみで応援に行くことのないようご家庭でもご指導をお願いします。

※夏季学習会は7月28日～30日と8月27日～29日の日程で実施します。事前申込制です。

※9月1日（月）は休業明け集会があります。